

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2010の開催

12月9日(木)に、けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2010(梅田スカイビル、大阪市)を実施し、けいはんな情報通信オープンラボのPRおよび研究発表を行いました。

シンポジウムは、「動き出した大阪駅北地区・KANSAI・明日の夢 ～ 北ヤードは何をもたらすのか～」というテーマのもと、松下正幸けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会理事長、野津正明近畿総合通信局長を含め、予想をはるかに超えた225名の参加を得ておこなわれ、大阪駅北地区開発への関心の高さをうかがわせました。宮原秀夫 NICT 理事長の基調講演、北村英和大阪市計画調整局長の特別講演、そして、松山隆司京大教授、荒川佳樹 NICT 主任研究員による研究発表がおこなわれ、その後、「大阪駅北地区への期待」と題して、パネルディスカッションが開かれました。また、協議会の活動の紹介等をパネルで展示しました。

基調講演では、科学・技術と感性やアートとを融合し、グランドデザインを描くことが今後の方向として重要であるという指摘をいただきました。パネルディスカッションにおいても技術展開や感性を磨く場としての北ヤードの有用性などが議論され、会場からは、超一流のものを大阪駅北地区に展開されることへの期待が述べられました。出席者からは、活発な議論が興味深かった、大阪駅北地区が新たな知の創造拠点となる期待を感じさせるなどの感想をいただきました。シンポジウムの後行われた交流会では、共同研究に向けた情報交換などがおこなわれました。



基調講演(宮原理事長)



特別講演(北村大阪市局長)



パネルディスカッション